

飼料分析基準に記載された分析項目

(令和6年5月20日現在)

区分	分析項目		
一般成分	水分→ ⁽³¹⁾ 粗たん白質 《ケルダール法→ ⁽³⁵⁾ → ⁽³⁸⁾ , ⁽²⁸⁾ 燃焼法→ ⁽³⁵⁾ → ⁽³⁸⁾ 》 粗脂肪 《ジ [°] エチルエーテル抽出法, 酸分解ジ [°] エチルエーテル抽出法→ ⁽²⁹⁾ → ⁽³¹⁾ → ⁽³⁷⁾ → ⁽⁴⁵⁾ 》 粗繊維 《静置法, ろ過法》	粗灰分 可溶無窒素物 ⁽²⁷⁾ 耐熱性α-アミラーゼ処理中性デタージェント繊維 (aNDF及びaNDFom)→ ⁽³¹⁾ → ⁽³³⁾ 略称変更 ⁽²⁸⁾ 酸性デタージェント繊維 (ADF及びADFom)→ ⁽³³⁾ 略称変更	8
無機成分	カルシウム 《シュウ酸アンモニウム法→ ⁽³⁸⁾ , 原子吸光度法→ ⁽³⁸⁾ 》 リン→ ⁽²⁹⁾ → ⁽³⁸⁾ 銅 《原子吸光光度法(→ ⁽⁶⁾ 灰化法, ⁽⁶⁾ 塩酸抽出法), 溶媒抽出-原子吸光光度法》 亜鉛 《原子吸光光度法(→ ⁽⁶⁾ 灰化法, ⁽⁶⁾ 塩酸抽出法)》 ナトリウム カドミウム 《溶媒抽出法→ ⁽⁴⁸⁾ , ⁽²⁸⁾ 簡易法→ ⁽⁴⁸⁾ 》 クロム 《吸光光度法, ⁽²¹⁾ 原子吸光光度法》 水銀→ ⁽³⁵⁾ 鉛 ヒ素→ ⁽²⁷⁾ 総ヒ素 ⁽⁵⁾ カリウム ⁽⁶⁾ 鉄	⁽⁶⁾ マグネシウム ⁽⁶⁾ マンガン ⁽⁹⁾ コバルト ⁽¹²⁾ セレン ⁽¹³⁾ 臭素 ⁽¹⁷⁾ 亜硝酸態窒素 《LC法, ⁽²⁶⁾ キャピラリー電気泳動法(サレージ)》 ⁽¹⁷⁾ 硝酸態窒素 《LC法, ⁽²⁶⁾ キャピラリー電気泳動法(サレージ)》 ⁽²⁶⁾ 塩素 《キャピラリー電気泳動法(飼料, サレージ)》 ⁽²⁷⁾ 無機ヒ素 ⁽²⁷⁾ モノメチル化ヒ素 ⁽²⁷⁾ ジメチル化ヒ素 ⁽²⁷⁾ トリメチル化ヒ素	24

区分	分析項目		
かび毒	<p>(³¹)で削除)アフラトキシン 《スクリーニング法》</p> <p>アフラトキシンB₁ 《蛍光デントメーター法(落,綿,とうもろこし,配合),⁽⁸⁾視覚法(落,綿,とうもろこし,配合),LC法1(⁽⁶⁾とうもろこし,⁽⁷⁾配合1,⁽¹⁶⁾配合2)→⁽²¹⁾(配合,とうもろこし)→⁽²⁶⁾→⁽⁴⁴⁾→⁽⁴⁹⁾,⁽²⁷⁾LC法2(大油除く),⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法》</p> <p>⁽⁶⁾デオキシニバレノール 《GC法(穀類等)→⁽²⁶⁾飼料,⁽²³⁾LC法→⁽²⁸⁾,⁽²⁶⁾LCMS法→⁽²⁷⁾,⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法,⁽⁴⁰⁾トリコテシー斉法,⁽⁴⁷⁾LCMSMS系統法(飼料作物サイレージ)》</p> <p>⁽⁶⁾ニバレノール 《GC法(穀類等)→⁽²⁶⁾飼料,⁽²³⁾LC法→⁽²⁸⁾,⁽²⁶⁾LCMS法→⁽²⁷⁾,⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法,⁽⁴⁰⁾トリコテシー斉法》</p> <p>⁽¹⁰⁾T-2トキシシン 《GC法,⁽²⁷⁾LCMS法,⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法,⁽⁴⁰⁾トリコテシー斉法》</p> <p>⁽¹¹⁾オクラトキシンA 《LC法1(穀類,配合),⁽²⁷⁾LC法2(穀類,配合),⁽²⁸⁾LC法3(穀類),⁽⁴⁴⁾LCMSMS法》</p> <p>⁽¹²⁾ゼアラレノン 《LC法(穀類,⁽¹⁴⁾配合,⁽²²⁾飼料),⁽²⁹⁾LCMS法(飼料),⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法,⁽⁴⁷⁾LCMSMS系統法(飼料作物サイレージ)》</p> <p>⁽¹⁹⁾フモニシンB₁ 《LC法(→⁽²¹⁾とうもろこし,⁽²¹⁾配合),⁽²⁸⁾LCMS法(飼料)》</p> <p>⁽¹⁹⁾フモニシンB₂ 《LC法(→⁽²¹⁾とうもろこし,⁽²¹⁾配合),⁽²⁸⁾LCMS法(飼料)》</p> <p>⁽²¹⁾アフラトキシンB₂ 《LC法1(配合,とうもろこし)→⁽²⁶⁾→⁽⁴⁴⁾→⁽⁴⁹⁾,⁽²⁷⁾LC法2(大油除く),⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法》</p> <p>⁽²¹⁾アフラトキシンG₁ 《LC法1(配合,とうもろこし)→⁽²⁶⁾→⁽⁴⁴⁾→⁽⁴⁹⁾,⁽²⁷⁾LC法2(大油除く),⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法》</p>	<p>⁽²¹⁾アフラトキシンG₂ 《LC法1(配合,とうもろこし)→⁽²⁶⁾→⁽⁴⁴⁾→⁽⁴⁹⁾,⁽²⁷⁾LC法2(大油除く),⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法》</p> <p>⁽²²⁾ステリグマトシスチン 《LC法,⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法》</p> <p>⁽²²⁾エルゴバリン</p> <p>⁽²²⁾ロリトレムB</p> <p>⁽²⁶⁾3-アセチルデオキシニバレノール 《GC法,⁽⁴⁰⁾トリコテシー斉法》</p> <p>⁽²⁶⁾15-アセチルデオキシニバレノール 《GC法,⁽⁴⁰⁾トリコテシー斉法》</p> <p>⁽²⁶⁾フザレノン-X 《GC法,⁽²⁹⁾LCMSMS一斉法,⁽⁴⁰⁾トリコテシー斉法》</p> <p>⁽²⁷⁾シトリニン 《⁽²⁷⁾LC法(穀類),⁽⁴⁴⁾LCMSMS法》</p> <p>⁽²⁸⁾フモニシンB₃ 《LCMS法(飼料)》</p> <p>⁽²⁹⁾ネオソラニオール 《LCMSMS一斉法,⁽⁴⁰⁾トリコテシー系一斉法》</p> <p>⁽²⁹⁾LCMSMSによる一斉分析法(飼料)→⁽³⁷⁾→⁽⁴⁰⁾</p> <p>⁽³¹⁾HT-2トキシシン 《LCMS法,⁽⁴⁰⁾トリコテシー斉法》</p> <p>⁽³¹⁾標準液の標定法</p> <p>⁽³⁷⁾α-ゼアララノール</p> <p>⁽³⁷⁾β-ゼアララノール</p> <p>⁽³⁷⁾ゼアララノン</p> <p>⁽³⁷⁾α-ゼアララノン</p> <p>⁽³⁷⁾β-ゼアララノン</p> <p>⁽⁴⁰⁾ジアセトキシシルペノール</p> <p>⁽⁴⁰⁾デオキシニバレノール-3-グルコシド</p> <p>⁽⁴⁰⁾トリコテセン系かび毒のLCMSMSによる一斉分析法(飼料)</p>	28

区分	分析項目		
農 薬	<p>BHC($\alpha, \beta, \gamma, \delta$) 《(17)で削除)単一, (10)多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(2)リン化水素(31)で有害物質から移動)</p> <p>(8)二臭化エチレン 《((32)で削除)単一, (32)多成分》</p> <p>(9)ダイアジノン 《(14)(17)で削除)多成分1, (14)多成分2, (16)→(18)多成分3, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(9)パラチオン 《(14)(17)で削除)多成分1, (14)多成分2, (16)→(18)多成分3, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(9)フェントロチオン 《(14)(17)で削除)多成分1, (14)多成分2, (16)→(18)多成分3, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(9)マラチオン 《(14)(17)で削除)多成分1, (14)多成分2, (16)→(18)多成分3, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(10)DDD 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(10)DDE 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(10)DDT 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(10)アルドリノ 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(10)エンドリン 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(10)ディルドリン 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(10)ヘプタクロル 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(10)ヘプタクロルエポキシド 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(12)イソプロカルブ 《(14)多成分1, (20)多成分2, (37)LCMSMS多成分(稲)》</p> <p>(12)カルバリル 《(14)多成分1, (20)多成分2, (36)LCMSMS多成分(稲), (43)LCMSMS多成分(飼料)》</p> <p>(12)キシリルカルブ 《(14)多成分1, (20)多成分2》</p> <p>(12)フェノブカルブ 《(14)多成分1, (20)多成分2, (36)LCMSMS多成分(稲), (43)LCMSMS多成分(飼料)》</p> <p>(12)メトルカルブ 《(14)多成分1, (20)多成分2, (37)LCMSMS多成分(稲)》</p> <p>(12)プロポキスル 《(14)多成分1, (20)多成分2, (37)LCMSMS多成分(稲)》</p> <p>(12)XMC 《(14)多成分1, (20)多成分2》</p> <p>(13)ピペロニルブトキシド</p>	<p>(13)ピリミホスメチル 《(17)で削除)単一, (14)多成分1, (16)→(18)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(14)クロルピリホスメチル 《多成分1, (16)→(18)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(14)ジクロロボス及びナレド 《多成分1(非ナレド合量), (18)多成分2(非ナレド合量), (32)ナレド一括法》</p> <p>(14)EPN 《多成分1, (16)→(18)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(14)フェンチオン 《多成分1, (16)→(18)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(14)フェントエート 《多成分1, (16)→(18)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(14)チアベンダゾール</p> <p>(15)ホサロン 《多成分1, (16)→(18)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(15)臭化メチル</p> <p>(15)ジクロラン 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(15)アラクロール 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(15)アレスリン 《多成分1, (20)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(15)メトキシクロール 《多成分1, (19)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(15)クロルプロファミン 《多成分, (29)GCMS一斉法, (45)単一》</p> <p>(16)ベノミル 《単一, (31)カルベンダジム一括法, (49)多成分(配合, 穀類, 乾牧草, 稲)》</p> <p>(16)ジネブ</p> <p>(16)マンゼブ</p> <p>(17)クロルフルアズロン→(18)</p> <p>(17)フェンバレレート 《多成分1, (20)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(17)ペルメトリン 《多成分1, (20)多成分2, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(18)キャプタン 《((38)で削除)単一, (38)単一》</p> <p>(18)クロルピクリン</p> <p>(18)クロルベンジレート 《単一, (19)多成分, (29)GCMS一斉法》</p> <p>(18)2,4-D 《多成分, (38)単一1(穀類), (39)単一2(乾牧草)》</p> <p>(18)2,4,5-T</p> <p>(18)アセフェート 《多成分, (40)メタミドホス同時》</p>	276

(農
薬)

- (18) イソフェンホス 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) イソフェンホスオキソン 《多成分, (34)GCMS一斉法》
 (18) イプロベンホス 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) エチオン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) エディフェンホス 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) エトプロホス 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) エトリムホス 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) カルボフェノチオン
 (18) キナルホス
 (18) クロルピリホス 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) クロルフェンビンホス 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) ジメトエート 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) テルブホス 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) トルクロホスメチル
 (18) パラチオンメチル 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) フェンスルホチオン
 (18) プロチオホス
 (18) ホスメット 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) ホレート 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) メカルバム
 (18) メチダチオン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (18) モノクロトホス
 (19) エチオフェンカルブ
 (19) ベンダイオカルブ 《多成分1, (20)多成分2》
 (19) メチオカルブ
 (19) シペルメトリン 《単一, (20)多成分》
 (19) ジメチピン
 (19) エンドスルファン
 (19) エンドスルファンスルフェート
 (19) クロルデン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (19) オキシクロルデン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (19) ノナクロール 《多成分》
 (19) ブタクロール
 (19) プレチラクロール
 (19) ヘキサクロロベンゼン
 (19) メトラクロール 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (20) アルジカルブ 《多成分2, (37)LCMSMS多成分(穀類及び乾牧草)》
 (20) カルボフラン 《多成分, (36)LCMSMS多成分(稲), (43)LCMSMS多成分(飼料)》
 (20) クロフェンテジン
 (20) ジフルベンズロン
 (20) 水酸化トリフェニルスズ
 (20) パラコート 《(単一, 49)多成分(配合, 穀類)》
 (20) ピンクロゾリン 《単一, (29)GCMS一斉法》
 (20) メトプレン
 (20) シハロトリン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (20) シフルトリン
 (20) テトラメトリン
 (20) テフルトリン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (20) デルタメトリン、*trans*-デルタメトリン及びトラロメトリン 《多成分(非トラロメトリン含量), (29)GCMS一斉法→(30)トラロメトリン一括→(40)*trans*体一括》
 (20) ビフェントリン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (20) フェンプロパトリン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (20) フルシトリネート 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (20) フルバリネート 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (21) 酸化フェンブタスズ
 (21) シヘキサチン
 (21) 3-OHカルボフラン 《((43)で削除)単一, (43)単一》
 (23) キノメチオネート
 (23) ジクワット 《(単一, 49)多成分(配合, 穀類)》
 (23) トリアジメノール
 (23) トリアジメホン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (23) プロピコナゾール 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (23) ホキシム
 (25) グリホサート 《多成分, (39)LCMSMS多成分(穀類, 稲わら及び稲発酵粗飼料→(46)大及び大油)→(44)→(45), (38)単一(乾牧草)》
 (25) グルホシネート 《多成分, (39)LCMSMS多成分1(穀類, 稲わら及び稲発酵粗飼料→(46)大及び大油)→(44), (37)LCMSMS多成分2》
 (25) トリクロロホン
 (25) リニューロン
 (26) アトラジン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (26) イプロジオン
 (26) シマジン
 (27) シアナジン 《多成分1, (32)多成分2》
 (27) ジコホール
 (27) トリフルラリン 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (27) ミクロブタニル
 (28) テブコナゾール 《多成分, (29)GCMS一斉法, (32)単一(乾牧草高濃度)》
 (28) ニトロフェン
 (28) フェナリモル 《多成分, (29)GCMS一斉法》
 (28) ベンタゾン
 (29) アセトクロール
 (29) アニロホス
 (29) アメトリン 《(29)GCMS一斉法, (32)多成分》
 (29) アリドクロール
 (29) イサゾホス
 (29) イソプロチオラン
 (29) エタルフルラリン
 (29) エトフェンプロックス
 (29) エトフメセート

区分	分析項目		
(農 薬)	(29) エトリジアゾール	(29) プロペタンホス	
	(29) オキサジアゾン	(29) ブロモキシニル	
	(29) カズサホス	(29) ブロモブチド	
	(29) カルフェントラゾンエチル	(29) ブロモプロピレート	
	(29) キントゼン	(29) ブロモホス	
	(29) クレソキシムメチル	(29) ヘキサコナゾール	
	(29) クロルタールジメチル	(29) ベノキサコール	
	(29) クロルフェナピル	(29) ペンコナゾール	
	(29) ジカンバ(DCSA及びDCSA抱合体を含む) 《単一 → ⁽³⁹⁾ , ⁽⁴⁰⁾ DCSA含量(大, 大油)》	(29) ペンディメタリン 《GCMS一斉法→ ⁽³⁸⁾ 》	
	(29) ジクロホップメチル	(29) ベンフルラリン	
	(29) ジフェナミド	(29) ホスチアゼート	
	(29) ジフェノコナゾール	(29) メタクリホス	
	(29) ジメテナミド	(29) メトミノストロビン(E体)	
	(29) ジメピペレート	(29) メビンホス	
	(29) シラフルオフェン	(31) で削除 ⁽²⁹⁾ リンデン(γ -BHC) 《多成分1, 多成分2, GCMS一斉法》	
	(29) ターバシル	(29) GCMSによる一斉分析法(→ ⁽³⁰⁾ トラロメトリン追加→ ⁽³⁴⁾ イソフェンホスオキソン追加→ ⁽³⁸⁾ → ⁽⁴⁰⁾ trans-デルタメトリン及び α -R-デルタメトリン追加→ ⁽⁴²⁾ ブロモブチド脱臭素体追加)	
	(29) チオベンカルブ	(30) イミダクロプリド 《単一, ⁽⁴³⁾ 多成分》	
	(29) テクナゼン	(30) カルタップ(チオシクラム及びベンスルタップを含む)(乾牧草, とうもろこし→ ⁽⁴⁷⁾ イアコンサイレージ)	
	(29) テトラクロルビンホス	(30) チオシクラム	
	(29) テトラコナゾール	(30) トラロメトリン	
	(29) テトラジホン	(30) トリシクラゾール	
	(29) テブフェンピラド	(30) ベンスルタップ	
	(29) テルブトリン	(31) カルベンダジム(チオフアネートメチル及びベノミルを含む) 《(単一, ⁽⁴⁹⁾ 多成分(配合, 穀類, 乾牧草, 稲)》	
	(29) トリアレート	(31) チオフアネートメチル 《(単一, ⁽⁴⁹⁾ 多成分(配合, 穀類, 乾牧草, 稲)》	
	(29) トリフロキシストロビン	(32) EPTC	
	(29) トリルフルアニド	(32) アジンホスメチル	
	(29) ナプロパミド	(32) プロメトリン	
	(29) ハルフェンプロックス	(33) インドキサカルブ	
	(29) ピペロホス	(33) ピコリナフェン	
	(29) ピリダフェンチオン	(34) エテホン	
	(29) ピリダベン	(34) ジウロン	
	(29) ピリプロキシフェン	(34) スピノサド (スピノシンA及びスピノシンD)	
	(29) フィプロニル 《 ⁽²⁹⁾ GCMS一斉法, ⁽⁴⁶⁾ 単一》	(36) クロチアニジン 《多成分(稲)→ ⁽⁴³⁾ 》	
	(29) フェノチオカルブ	(36) ジノテフラン 《多成分(稲)→ ⁽⁴³⁾ 》	
	(29) フェノトリン	(36) チアメトキサム 《多成分(稲)→ ⁽⁴³⁾ 》	
	(29) フェンブコナゾール	(36) チアクロプリド 《多成分(稲)》	
	(29) ブタミホス	(36) テブフェノジド 《多成分(稲)》	
	(29) フラムプロップメチル	(36) フラメトピル(⁽⁴¹⁾ でフラメトピルヒドロキシ体を削除) 《多成分(稲)》	
	(29) フルトラニル	(36) フルジオキシニル 《多成分(稲)》	
	(29) フルトリアホール		
	(29) フルミオキサジン		
	(29) フルミクロラックペンチル		
	(29) プロシミドン		
	(29) プロパクロール		
	(29) プロバジン		
	(29) プロパニル		
	(29) プロパルギット		
	(29) プロファム		
(29) プロフェノホス 《GCMS一斉法, ⁽³²⁾ 多成分》			

区分	分析項目	
(農 薬)	(36)メトキシフェノジド 《多成分(稲)》	(39)クロマフェノジド 《多成分(稲)》
	(37)アゾキシストロビン 《多成分(稲)》	(39)クロラントラニリプロール 《多成分(稲)》
	(37)アルジカルブスルホン 《多成分(稲わら及び び粃米)》	(39)クロロタロニル 《単一(稲発酵飼料及び粃 米)》
	(37)オリサストロビン(オリサストロビン5Z異性 体を含む) 《多成分(稲)》	(39)ジメタメトリン 《多成分(稲)》
	(37)クミルロン 《多成分(稲)》	(39)チフルザミド 《多成分(稲)》
	(37)ジクロシメット 《多成分(稲)》	(39)ピリブチカルブ 《多成分(稲)》
	(37)シハロホップブチル 《多成分1(稲わら及 び粃米), (42)多成分2(稲発酵粗飼料)》	(39)ピロキロン 《多成分(稲)》
	(37)シメコナゾール 《多成分(稲)》	(40)イマザピック 《イマザピル同時》
	(37)シメトリン 《多成分(稲)》	(40)イマザピル 《イマザピック同時》
	(37)ダイムロン 《多成分(稲)》	(40)エスプロカルブ 《多成分(稲)》
	(37)テニルクロール 《多成分(稲)》	(40)カフェンストロール 《多成分(稲)》
	(37)パクロブトラゾール 《多成分(稲)》	(40)α-R-デルタメトリン
	(37)ピリミカーブ 《多成分(稲)》	(40)ピラゾキシフェン 《多成分(稲)》
	(37)ピリミノバックメチル(ピリミノバックメチ ル(E体)及びピリミノバックメチル(Z体)) 《多成分(稲)》	(40)ピラゾリネート 《多成分(稲)》
	(37)フェノキサニル 《多成分(稲)》	(40)フサライド 《単一(稲)》
	(37)ペンシクロン 《多成分(稲)》	(40)ブプロフェジン 《多成分(稲)》
	(37)ベンゾフェナップ 《多成分(稲)》	(40)メタミドホス 《アセフェート同時》
	(37)ベンフレセート 《多成分(稲わら及び粃 米), (42)多成分2(稲発酵粗飼料)》	(42)ブクロラズ 《単一(稲)》
	(37)メタラキシル 《多成分(稲)》	(42)ブロモブチド脱臭素体
	(37)メプロニル 《多成分(稲)》	(44)フェリムゾン 《単一(稲)》
(37)モリネート	(46)ヒドロキシイソキサゾール 《単一(稲わら及 び粃米)》	
(38)ピメトロジン 《単一(稲)》	(48)アジムスルフロン 《多成分(稲)》	
(39)エチプロール 《多成分(稲)》	(48)イマズスルフロン 《多成分(稲)》	
(39)オキサジクロメホン 《多成分(稲)》	(48)エトキシスルフロン 《多成分(稲)》	
(39)オキソリニック酸 《単一(稲発酵粗飼料及 び粃米), (40)単一(稲わら)》	(48)シクロスルフアムロン 《多成分(稲)》	
(39)カルプロパミド 《多成分(稲)》	(48)ハロスルフロンメチル 《多成分(稲)》	
	(48)フルセトスルフロン 《多成分(稲)》	
	(48)ベンスルフロンメチル 《多成分(稲)》	
	(49)チオファネート 《多成分(配合, 穀類, 乾牧 草, 稲)》	
有害 物質	シアン化水素(キャッサバ) 《滴定法, (31)吸光 光度法》	(17)トリブチルスズ化合物→(26) (31)で農薬から移 動)
	PCB (飼料, 油脂, フィッシュソリュブル)	(31)ゴシポール
	3, 4-ベンツピレン (飼料用酵母)	(35)メラミン
	(2)ヒスタミン 《((43)で削除)比色法, ((43)で削 除) (26)キャピラー泳動法(魚粉), (43)LCMSMS法》	(47)シアヌル酸

区分	分析項目		
合成抗菌剤	デコキネート 《蛍光光度法, ⁽¹¹⁾ LC法, ⁽¹²⁾ 微量法(飼料, ⁽¹⁵⁾ °レ)》 フラゾリドン 塩酸ロベニディン ジニトルミド ⁽¹⁾ カルバドックス ⁽¹⁾ ナイカルバジン 《吸光光度法, ⁽⁸⁾ LC法→ ⁽⁴⁸⁾ , ⁽¹⁶⁾ 微量法(飼料)→ ⁽⁴⁸⁾ 》 ⁽²⁾ アンプロリウム 《吸光光度法, ⁽⁹⁾ → ⁽¹⁷⁾ (⁽¹⁷⁾ で°レと配合に分割)→ ⁽¹⁸⁾ → ⁽²⁹⁾ (配合)LC法, ⁽¹³⁾ → ⁽¹⁸⁾ 微量法》 ⁽²⁾ エトパベート 《LC法(→ ⁽¹⁵⁾ → ⁽¹⁷⁾ (⁽¹⁷⁾ で°レと配合に分割), → ⁽²²⁾ 配合), ⁽¹⁵⁾ 微量法》 ⁽²⁾ クロピドール ⁽⁴⁾ オラキンドックス 《LC法, ⁽¹²⁾ 微量法》	⁽⁷⁾ スルファキノキサリン 《LC法(→ ⁽¹⁷⁾ → ⁽²¹⁾ °レ, → ⁽²⁰⁾ 配合), ⁽¹³⁾ 微量法》 ⁽⁸⁾ クエン酸モランテル 《LC法1(→ ⁽¹⁶⁾ °レ, → ⁽¹⁶⁾ → ⁽¹⁹⁾ → ⁽²⁹⁾ 配合), ⁽³⁵⁾ LC法2(配合), ⁽¹⁵⁾ 微量法》 ⁽⁹⁾ ハロフジノンポリスチレンスルホン酸カルシウム 《LC法(→ ⁽¹²⁾ °レ, 配合), ⁽¹⁴⁾ 微量法》 ⁽³¹⁾ マラカイトグリーン(飼料, ⁽³³⁾ 魚油)《LCMSMS法》 ⁽³¹⁾ ロイコマラカイトグリーン(飼料, ⁽³³⁾ 魚油)《LCMSMS法》 ⁽³³⁾ オキシリン酸(魚粉及び配合飼料) ⁽³³⁾ フルメキン(魚粉及び配合飼料) ⁽³⁴⁾ クリスタルバイオレット 《LCMSMS法》 ⁽³⁴⁾ メチレンブルー 《LCMSMS法》	19
抗生物質	⁽³⁾ 亜鉛バシトラシン(°レ, ⁽⁴⁾ 飼料) ⁽³⁾ 塩酸オキシテトラサイクリン(°レ, 飼料) ⁽³⁾ クロルテトラサイクリン(°レ1, ⁽¹¹⁾ °レ2, 飼料1, 飼料2) 《 ⁽²⁸⁾ LC法(飼料)》 ⁽³⁾ エンラマイシン(→ ⁽²⁵⁾ °レ, ⁽⁴⁾ 飼料) ⁽³⁾ アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン(°レ, 飼料)《 ⁽²⁷⁾ LC法(飼料)》 ⁽³⁾ ポリスチレンスルホン酸オレアンドマイシン(°レ, ⁽⁵⁾ 飼料) ⁽³⁾ キササマイシン(°レ, ⁽⁴⁾ 飼料) 《 ⁽¹³⁾ 微量法》《 ⁽²⁵⁾ 確認法(°レ)》 ⁽³⁾ ケバマイシンナトリウム(°レ) ⁽³⁾ エンボン酸スピラマイシン(°レ, ⁽⁵⁾ 飼料) ⁽³⁾ チオペプチン(°レ, ⁽⁴⁾ 飼料) ⁽³⁾ バージニアマイシン(→ ⁽⁸⁾ °レ, ⁽⁵⁾ 飼料) 《 ⁽¹³⁾ 微量法》 ⁽³⁾ フラボフォスフォリポール(°レ) ⁽³⁾ マカルボマイシン(°レ, ⁽⁵⁾ 飼料) ⁽³⁾ マンガンバシトラシン(°レ, ⁽⁴⁾ 飼料) ⁽³⁾ 硫酸カナマイシン(°レ) ⁽³⁾ 硫酸コリスチン(→ ⁽⁸⁾ °レ, 飼料) ⁽³⁾ 硫酸フラジオマイシン(°レ) ⁽³⁾ リン酸タイロシン(°レ, ⁽⁴⁾ 飼料) 《 ⁽¹²⁾ 微量法→ ⁽¹³⁾ 》《 ⁽¹⁹⁾ 確認法(°レ, 飼料)》 ⁽³⁾ サリノマイシンナトリウム(°レ, 飼料(鶏用, ⁽⁷⁾ 肉牛用)) 《 ⁽¹²⁾ 微量法, ⁽³¹⁾ LCMS微量法》《 ⁽¹⁸⁾ 確認法(°レ, 飼料)》《 ⁽²³⁾ LC法(飼料, ⁽²⁵⁾ °レ)》	⁽³⁾ モネンシンナトリウム(°レ, 飼料(鶏用, ⁽⁷⁾ 肉牛用→ ⁽⁴⁰⁾ → ⁽⁴⁹⁾)) 《 ⁽¹²⁾ 微量法, ⁽³¹⁾ LCMS微量法》《 ⁽¹⁸⁾ 確認法(°レ, 飼料)》《 ⁽²³⁾ LC法(飼料→ ⁽⁴⁰⁾ → ⁽⁴⁹⁾ , ⁽²⁵⁾ °レ)》 ⁽⁵⁾ ビコザマイシン(→ ⁽¹⁶⁾ 飼料, ⁽⁹⁾ °レ) ⁽⁵⁾ ラサロシドナトリウム (⁽⁶⁾ °レ, 飼料(鶏用, ⁽¹³⁾ 牛用)) 《 ⁽¹²⁾ 微量法, ⁽³¹⁾ LCMS微量法》《 ⁽¹⁸⁾ 確認法(°レ, 飼料)》《 ⁽²¹⁾ LC法(鶏用配合, ⁽²²⁾ °レ)》 ⁽⁷⁾ アボパルシン(飼料, ⁽¹⁰⁾ °レ) ⁽⁸⁾ ハイグロマイシンB(飼料) ⁽⁸⁾ DESTマイシンA (→ ⁽²¹⁾ → ⁽²²⁾ 飼料) ⁽⁹⁾ ノシヘプタイト(→ ⁽¹⁷⁾ 飼料, ⁽¹⁴⁾ → ⁽¹⁹⁾ °レ) 《 ⁽¹⁴⁾ 微量法, ⁽³⁸⁾ LC微量法(飼料)》《 ⁽³⁸⁾ LC法(飼料)》 ⁽¹¹⁾ ポリナクチン(飼料) ⁽¹³⁾ エフロトマイシン(→ ⁽²¹⁾ 飼料, ⁽²⁷⁾ °レ) ⁽¹⁴⁾ アビラマイシン(→ ⁽³¹⁾ 飼料, ⁽¹⁹⁾ °レ1, ⁽¹⁹⁾ °レ2, ⁽³¹⁾ 豚用) ⁽¹⁵⁾ セデカマイシン(飼料1, ⁽²⁰⁾ 飼料2, ⁽¹⁶⁾ °レ) ⁽¹⁶⁾ オリエンチシン(飼料) ⁽¹⁶⁾ センデュラマイシンナトリウム(飼料, ⁽¹⁸⁾ °レ)《 ⁽¹⁸⁾ 確認法(°レ, 飼料)》《 ⁽²⁵⁾ LC法(飼料, ⁽²⁶⁾ °レ)》《 ⁽³¹⁾ LCMS微量法》 ⁽²⁴⁾ ナラシン(飼料→ ⁽⁴⁸⁾ , ⁽²⁶⁾ °レ→ ⁽⁴⁸⁾) 《→LC法(飼料→ ⁽⁴⁸⁾ , ⁽²⁶⁾ °レ→ ⁽⁴⁸⁾)》《 ⁽³¹⁾ LCMS微量法》 ⁽²⁶⁾ クロラムフェニコール 《LC微量法(脱脂粉乳), ⁽³³⁾ LCMSMS微量法1(魚粉・配合), ⁽³⁶⁾ LCMSMS微量法2(脱脂粉乳)》	34

区分	分析項目		
ビタミン(プレミックス)	(3) リボフラビン 《ルミフラビン蛍光法, (5)LC法》 (4) 塩酸チアミン (4) 塩酸ピリドキシン (4) 酢酸dl- α -トコフェロール (4) 硝酸チアミン (5) 塩化コリン (5) ニコチン酸アミド (5) <i>o</i> -ピオチン (6) L-アスコルビン酸 (6) L-アスコルビン酸カルシウム (6) ニコチン酸 (6) パラアミノ安息香酸 (6) メナジオン亜硫酸水素ジメチルピリミジノール	(6) メナジオン亜硫酸水素ナトリウム (6) 葉酸 (7) アセトメナフトン (7) シアノコバラミン (7) ビタミンA粉末 (7) ビタミンA油 (8) コレカルシフェロール (8) ビタミンD ₃ 油 (8) リボフラビン酪酸エステル (9) D-パントテン酸カルシウム (9) DL-パントテン酸カルシウム (10) 塩酸ジベンゾイルチアミン	25
アミノ酸	(4) アスパラギン酸(飼料) (4) アミノ酢酸(飼料, (10)ﾌﾟﾚ) (4) アラニン(飼料) (4) アルギニン(飼料) (4) イソロイシン(飼料) (4) グルタミン酸(飼料) (4) シスチン(飼料) (4) セリン(飼料) (4) チロシン(飼料) (4) トリプトファン(飼料) (4) トレオニン(飼料) (4) バリン(飼料)	(4) ヒスチジン(飼料) (4) フェニルアラニン(飼料) (4) プロリン(飼料) (4) メチオニン(飼料) (4) リジン(飼料) (4) ロイシン(飼料) (9) 塩酸L-リジン(ﾌﾟﾚ) (9) L-グルタミン酸ナトリウム(ﾌﾟﾚ) (9) DL-メチオニン(ﾌﾟﾚ) (10) DL-アラニン(ﾌﾟﾚ) (10) L-トレオニン(ﾌﾟﾚ)	23
防かび剤	(4) プロピオン酸 《GC法(飼料), (21)LC法(飼料), (22)キャピラリー電気泳動法(飼料, (26)サレージ)》 (4) プロピオン酸カルシウム 《GC法(飼料), (21)LC法(飼料)》 (4) プロピオン酸ナトリウム 《GC法(飼料), (21)LC法(飼料)》		3
抗酸化剤	(4) ジブチルヒドロキシトルエン(配合, 魚粉, 油脂) (4) ブチルヒドロキシアニソール(配合, 魚粉, 油脂) (5) エトキシキン(油脂1→(28), (→(17)魚粉, (17)配合)→(28), (27)油脂2)		3
色素	(31)でその他から移動) (26) β -アポ-8'-カロチン酸エチルエステル(配合)	(26) カンタキサンチン(配合)	2
有機酸	(31)でその他から移動) (17)フマル酸 《LC法(配合), (22)キャピラリー電気泳動法(飼料)》 (22)ギ酸 《キャピラリー電気泳動法(飼料, (26)サレージ)》 (22)クエン酸 《キャピラリー電気泳動法(飼料, (26)サレージ)》 (22)酢酸 《キャピラリー電気泳動法(飼料, (26)サレージ)》 (22)酒石酸 《キャピラリー電気泳動法(飼料, (26)サレージ)》	(22)乳酸 《キャピラリー電気泳動法(飼料, (26)サレージ)》 (22)リンゴ酸 (26) <i>iso</i> -吉草酸(サレージ) (26) <i>n</i> -吉草酸(サレージ) (26) <i>n</i> -ヘキサン酸(サレージ) (26)酪酸(サレージ)	11

区分	分析項目		
DNA 動物由来	(31) ほ乳動物由来DNA→ ⁽³⁵⁾	(31) 家きん由来DNA	7
	(31) 反すう動物由来DNA→ ⁽³⁵⁾	(31) 魚介類由来DNA	
	(31) 牛由来DNA→ ⁽³⁵⁾	(35) 増幅産物確認試験法	
	(31) 豚由来DNA	(43) しか由来DNA	
たん 白 質 動物由来	(31) 牛由来たん白質 《ELISA-TEK(動物質性飼料), ヲリカ [®] (配合飼料, 動物(除豚, 鶏)質性飼料), ⁽³⁵⁾ ヲリカ [®] Ver. 2(配合飼料, 動物質性飼料)》		5
	(31) 反すう動物由来たん白質 《MELISA-TEK(動物(除魚介類)質性飼料)》		
	(31) 豚由来たん白質 《ELISA-TEK(動物質性飼料)》		
	(31) 家きん由来たん白質 《ELISA-TEK(動物質性飼料), ヲリカ [®] (配合飼料, 動物(除豚)質性飼料)》		
	(43) しか由来たん白質 《(43) ヲリカ [®] Ver. 2(動物質性飼料)》		
微 病 生 物 原	(4) サルモネラ→ ⁽⁸⁾ → ⁽¹⁷⁾ → ⁽³⁴⁾ → ⁽³⁹⁾ → ⁽⁴²⁾		2
	(20) 大腸菌(0-157→ ⁽²¹⁾ , ヘ [®] 毒→ ⁽²¹⁾ , その他)		
そ の 他	尿素	過酸化物質	12
	ジウレイドイソブタン	塩酸不溶解物(土砂)	
	水溶性窒素	⁽⁹⁾ プロピレングリコール	
	ペプシン消化率	⁽²⁷⁾ コレステロール	
	揮発性塩基性窒素	⁽²⁸⁾ たん白質(動物性油脂)	
	酸価	⁽²⁹⁾ 糊化(α化)度	

注1 分析項目に付した()内の数字は、それぞれ以下の飼料分析基準(制定:昭和52年12月28日付け52畜B第3178号農林水産省畜産局長通知)の一部改正⁽⁸⁾、⁽¹⁷⁾、⁽³¹⁾及び⁽⁴⁸⁾は全面改正)により追加されたものであることを示す。「→」は、()内の数字で改正されたものである。

- | | | |
|------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| (1) 昭和54年 6月19日付け54畜B第1390号 | ((8)~(16)全面改正) | (34) 平成22年 6月 4日付け22消安第1227号 |
| (2) 昭和55年 9月22日付け55畜B第2381号 | (18) 平成 9年 2月25日付け 9畜B第 135号 | (35) 平成23年 8月22日付け23消安第2266号 |
| (3) 昭和57年 2月25日付け57畜B第 102号 | (19) 平成10年10月 8日付け10畜B第1477号 | (36) 平成24年 5月25日付け24消安第 752号 |
| (4) 昭和57年 7月31日付け57畜B第1722号 | (20) 平成11年 4月23日付け11畜B第 530号 | (37) 平成25年 7月 1日付け25消安第1214号 |
| (5) 昭和58年 9月14日付け58畜B第2067号 | (21) 平成12年 3月30日付け12畜B第 435号 | (38) 平成26年 6月17日付け26消安第1331号 |
| (6) 昭和59年 8月16日付け59畜B第1947号 | (22) 平成13年 3月30日付け12生畜第1810号 | (39) 平成27年 6月16日付け27消安第1181号 |
| (7) 昭和60年12月18日付け60畜B第3224号 | (23) 平成14年 4月10日付け14生畜第 191号 | (40) 平成28年 6月13日付け28消安第1178号 |
| (8) 昭和62年 2月24日付け61畜B第3815号 | (24) 平成14年 5月31日付け14生畜第 993号 | (41) 平成28年12月22日付け28消安第3615号 |
| ((1)~(7)全面改正) | (25) 平成15年 1月28日付け14生畜第6376号 | (42) 平成29年 6月28日付け29消安第 265号 |
| (9) 昭和63年 1月 7日付け62畜B第3100号 | (26) 平成15年10月27日付け15消安第2317号 | (43) 平成30年 6月29日付け30消安第1549号 |
| (10) 昭和63年 6月10日付け63畜B第1146号 | (27) 平成16年11月26日付け16消安第5298号 | (44) 令和元年 5月21日付け元消安第 258号 |
| (11) 平成 2年 2月22日付け 2畜B第 46号 | (28) 平成18年 3月24日付け17消安第12543号 | (45) 令和 2年 6月 3日付け 2 消安第 983号 |
| (12) 平成 2年11月22日付け 2畜B第2034号 | (29) 平成18年 5月15日付け18消安第1333号 | (46) 令和 3年 4月16日付け 3 消安第 86号 |
| (13) 平成 3年 8月 5日付け 3畜B第1630号 | (30) 平成18年12月18日付け18消安第9921号 | (47) 令和 4年 4月27日付け 3 消安第7029号 |
| (14) 平成 4年12月 4日付け 4畜B第2497号 | (31) 平成20年 4月 1日付け19消安第14729号 | (48) 令和 5年 12月 1日付け 5 消安第4714号 |
| (15) 平成 6年 2月 3日付け 6畜B第 92号 | ((17)~(30)全面改正) | ((31)~(47)全面改正) |
| (16) 平成 6年 9月 2日付け 6畜B第1334号 | (32) 平成20年 7月 1日付け20消安第3749号 | (49) 令和 6年 5月20日付け 6 消安第367号 |
| (17) 平成 7年11月15日付け 7畜B第1660号 | (33) 平成21年 5月 1日付け21消安第 822号 | |

2 《 》内は分析法名を示す。「多成分」は複数成分の同時分析法を示す。「一斉」は別途規定される多成分同時分析法によるものであることを示す。

「微量法」は低濃度分析法、「確認法」は確認試験法であることを示す。

「LCMS法」、「LCMSMS法」及び「GCMS法」は、それぞれ、液体クロマトグラフ質量分析計による方法、液体クロマトグラフタンデム型質量分析計による方法及びガスクロマトグラフ質量分析計による方法であることを示す。

3 ()内は分析の適用範囲を示し、「配合」は配合飼料、「ブレ」はプレミックス、「落」は落花生油かす、「綿」は綿実油かす、「大」は大豆、「大油」は大豆油かす、「稲」は稲わら、稲発酵粗飼料及び粃米であることをそれぞれ示す。